



会議室は利用できます

宇土市民会館は7月29日(水)から臨時休館しておりましたが、施設の安全が確認されましたので、一部施設の利用を再開しています。

皆様のご利用をお待ちしています。

▶ **利用再開日** 9月2日(水)

▶ **対象施設** 大会議室、第1～第3会議室、
1階ギャラリー



大会議室



第1・第2会議室(分割して利用できます)



第3会議室



1階ギャラリー

なお、大ホールについては、施設の修繕が必要なことから、当面の間利用を停止しており、再開までは期間を要する見込みです。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

編集後記

▽今回の地震の影響で片付けに追われていた実家も、残すところあと自分の部屋だけという状況なのですが、なかなか手が付けられず、気づけばもう夏が終わってしまいました。壊れたテレビや落下した趣味の音響機器を見るたびにため息が出ますが、寒くなるまでにはなんとか終わらせたいものです。(古)

▽熊本地震から2カ月が経過しようとしています。
おかげさまで家自体は無事だったものの、テレビや壁紙など家の中は被害甚大。やっと先日テレビを買いに行けました。画面がバキバキのテレビともあと少しのお付き合い。「九州ふっこう応援割」を活用し、夏休みに連れていけなかった旅行を計画したいと思います!(壮)

▽今夏の地震で思ったこと2点。①八代の拙宅はどの部屋もまるでシェイクされたみたいで、大型で背の高い食器棚は倒れ、皿や丼などは全滅。そばに人がいたら危険でした②町内の神社と寺も倒壊。古い建物は軒並み全壊したり、傾いたり……。宇土も被災し、甚大な被害が出た氷川町はすぐそこ。誰もが災害は他人事でないと感じたはず。「備えあれば憂いなし」。拙宅も食器棚は背の低いタイプに替えるなど、地震対策を根本から見直そうと思います。(祐)

▽秋のせいでしょうか。気づけば、デスクの引き出しにはいつもお菓子が。「ちよっと疲れたな」というときに、ついつい手が伸びてしまっています。朝晩も少し涼しくなり、慌ただしく過ごしているうちに季節はすっかり秋へ。もうしばらく慌ただしい毎日が続きそうですが、秋のおいしいものを楽しみに、もうひと頑張りしたいと思います。(松)

【お詫びと訂正】
前回9月号の香典返し掲載において岩古曾町の鈴木様の名前に誤りがありました。関係者の皆様並びに鈴木様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます、訂正いたします。

▽(正)岩古曾町

鈴木信一

亡妻

マス子

(八八)

社協へのご寄付は、確定申告などで、所得税法と地方税法の「寄付金控除」ができます。
(※9月10日受付分までを掲載)

▽網津町	野添弘美	亡夫	純三	(五九)
▽野鶴町	竹下友美	亡母	光代	(七七)
▽長浜町	中村トミ子	亡夫	和彦	(九四)
▽網引町	江島一実	亡妻	敏子	(七一)
▽野鶴町	大田黒英子	亡夫	幸一	(八四)
▽入地町	古澤久美子	亡母	藤末卓月	(九三)
▽網津町	宮下喬	亡母	カナメ	(八四)
▽城塚町	山口健一	亡母	康子	(八七)
▽花園町	中山茂樹	亡父	勤	(九一)
▽旭町	松村美知子	亡夫	良一	(八九)
▽松山町	上田ゆり子	亡母	幸一	(八三)
▽新松原町	中原憲一	亡母	チヨノ	(二〇)
▽神馬町	奥村富士代	亡父	前田孝子	(二〇)
▽上野町	井手寿幸	亡妻	東希	(八七)
▽花園台町	中島和雄	亡妻	千恵子	(九三)
▽入地町	中石恵	亡母	トシエ	(九〇)
▽境目町	那須拓光	亡母	朝子	(九〇)

香典返し

市社協に次の方々から寄付がありました。厚く御礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りいたします。(敬称略)

